

平成14年8月6日

各 位

会 社 名 株式会社 京 葉 銀 行  
代 表 者 名 取締役頭取 綿貫 弘一  
(コード番号：8544 東証第一部)

平成15年3月期 第1四半期の開示について

当行の平成15年3月期第1四半期(平成14年4月1日から平成14年6月30日)における四半期情報について、お知らせします。

以下に掲げる四半期情報は、経済対策閣僚会議「改革先行プログラム」及び金融庁「証券市場の構造改革プログラム」の趣旨等を踏まえ、当四半期から任意の会社情報として開示するものです。

以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。なお、単位未満については切り捨てて表示しております。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体) (参考) (単位:億円)

	平成14年6月末	平成14年3月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	454	478
危険債権	792	772
要管理債権	366	340

(注)上記の平成14年6月末の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、より保守的な債務者区分の判定を行った結果を、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各種カテゴリーにより分類しております。

債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権

(実質破綻先・破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権

(要注意先のうち、3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

なお、上記債権は、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。

## 2. 自己資本比率（国内基準）

（参考）

	平成14年9月末(予想値)
連結自己資本比率	8.6%程度
連結Tier1比率	7.6%程度

	平成14年3月末(実績)
	8.40%
	7.43%

(注) 1. 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

2. 当行は、拠点を国内に限っておりますので、国内基準を採用しており、基本的項目のみで、国内基準の4%を大きくクリアーする見込みであります。

## 3. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

評価差額

（単位：億円）

（参考）

（単位：億円）

	平成14年6月末			
	時価	評価差額		
		うち益	うち損	
その他有価証券	4,224	28	134	106
株式	362	69	32	102
債券	3,805	101	102	0
その他	56	3	-	3

	平成14年3月末			
	時価	評価差額		
		うち益	うち損	
	4,085	12	118	105
	361	69	29	99
	3,668	86	88	2
	55	4	-	4

(注) 1. 平成14年6月末の「評価差額」及び「含み損益」は、平成14年6月末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前。）と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

（単位：億円）

（参考）

（単位：億円）

	平成14年6月末			
	帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損	
満期保有目的の債券	50	0	0	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-

	平成14年3月末			
	帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損	
	50	0	0	-
	-	-	-	-

## 4. デリバティブ取引（単体）

## (1) 金利関連取引

該当ありません。

## (2) 通貨関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成14年6月末		
		契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	-	-	-
	為替予約	-	-	-
	通貨オプション	-	-	-
	その他	-	-	-

(参考)

(単位：億円)

平成14年3月末		
契約額等	時価	評価損益
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

(注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引及び下記注2. 3. の取引は、上記記載から除いております。

2. 期間損益計算を行っている通貨スワップ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

(単位：億円)

種類	平成14年6月末		
	契約額等	時価	評価損益
通貨スワップ	54	0	0

(参考)

(単位：億円)

平成14年3月末		
契約額等	時価	評価損益
51	0	0

3. 先物為替予約、通貨オプション等のうち、引き直しを行っている通貨関連デリバティブ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

(単位：億円)

区分	種類	平成14年6月末	
		契約額等	
取引所	通貨先物	-	
店頭	為替予約	2	
	通貨オプション	-	

(参考)

(単位：億円)

平成14年3月末	
契約額等	
-	
0	
1	

## (3) 株式連取引

該当ありません。

## (4) 債券関連取引

(単位：億円)

区分	平成14年6月末		
	契約額等	時価	評価損益
取引所	-	-	-
店頭	30	0	0
合計			0

(参考)

(単位：億円)

平成14年3月末		
契約額等	時価	評価損益
-	-	-
-	-	-
		-

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

## (5) 商品関連取引

該当ありません。

## (6) その他

該当ありません。

## 5. 預金・貸出金の残高(単体)

(単位:億円)

	平成14年6月末	平成14年3月末(実績)	対比
預金(未残)	24,550	23,928	622
貸出金(未残)	19,254	19,520	266

(注) 1. 預金については、譲渡性預金を含んでおりません。

2. 平成14年6月末の貸出金については、部分直接償却を実施した場合の計数であります。

## 【預金】

平成14年6月末実績は、個人預金を中心に対前期622億円の増加となり、順調に推移しております。また、6月1日～8月31日まで実施しております期間限定キャンペーン「アルファバンクの夏のWプレゼント」は、ご好評を頂き、6月末現在28,188口のお申込みがありました。

当行は、おかげさまで平成15年3月末に創立60周年を迎えます。

永年のご愛顧に感謝し、新たなキャンペーンを実施する予定でございますので、ご期待下さい。

## 【貸出金】

平成14年6月末実績につきましては対前期減少しておりますが、4月～6月末までの3ヶ月間で、コア融資の中核となります中小企業512先(昨年7月より1年間では2,989先)のお客様と新たに融資取引を始めることができました。

住宅ローンにつきましては、対前期29億円の増加、対前年同月比400億円の増加と着実に推移しております。住宅ローンのあらゆるお客様のニーズにお応えする為、変動金利型及び、2年・3年・5年の固定金利型をご用意いたしております。

また、お客様のお取引に応じたポイントによる各種商品の金利優遇サービスも実施しております。

今後も、良質な資産の積み上げを目指し、中小企業向け融資並びに住宅ローンを中心としたコア融資の拡大を積極的に推進して参ります。

以上